

平成28年度 年度計画変更 新旧対照表

変更前	変更後	変更理由
<p>I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1. 宇宙安全保障の確保 (1) (略) (2) 衛星リモートセンシング (略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 超低高度衛星技術試験機(以下「SLATS」という。)の維持設計、プロトフライトモデルの製作・試験、地上システムの開発を実施し、射場作業、打ち上げ、及び初期機能確認を実施する。 <p>(略)</p> <p>2. 民生分野における宇宙利用の推進 (1) (略) (2) 衛星リモートセンシング</p> <p>① 防災等に資する衛星の研究開発等 (略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SLATS の維持設計、プロトフライトモデルの製作・試験、地上システムの開発を実施し、射場作業、打ち上げ及び初期機能確認を実施する。 <p>(略)</p>	<p>I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1. 宇宙安全保障の確保 (1) (略) (2) 衛星リモートセンシング (略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 超低高度衛星技術試験機(以下「SLATS」という。)の維持設計、プロトフライトモデルの製作・試験、地上システムの開発を実施し、射場作業、打ち上げ、及び初期機能確認を実施する。 <p>(略)</p> <p>2. 民生分野における宇宙利用の推進 (1) (略) (2) 衛星リモートセンシング</p> <p>① 防災等に資する衛星の研究開発等 (略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SLATS の維持設計、プロトフライトモデルの製作・試験、地上システムの開発を実施し、射場作業、打ち上げ、及び初期機能確認を実施する。 <p>(略)</p>	<p>SLATS、GCOM-C の打ち上げ時期が平成 29 年度となったことを受け、年度計画の記述を変更する。</p>

変更前	変更後	変更理由
<p>②衛星による地球環境観測 (略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動観測衛星(GCOM-C)の維持設計、プロトフライトモデルの製作・試験、及び地上システムの開発を実施し、射場作業、打ち上げ及び初期機能確認を実施する。 <p>(略)</p> <p>③(略)</p> <p>(3) ~ (4)(略)</p>	<p>②衛星による地球環境観測 (略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動観測衛星(GCOM-C)の維持設計、プロトフライトモデルの製作・試験、及び地上システムの開発を実施し、射場作業、打ち上げ及び初期機能確認を実施する。 <p>(略)</p> <p>③(略)</p> <p>(3) ~ (4)(略)</p>	

変更前	変更後	変更理由
<p>3. 宇宙産業及び科学技術の基盤の維持・強化 (1) (略) (2) 宇宙科学・探査 ① (略) ② 宇宙科学・探査プロジェクト (略) ● 次期 X 線天文衛星 (ASTRO-H) の運用、及びブラックホール、銀河団などの X 線観測 (略) (3) ~ (5) (略) 4. ~ 6. (略)</p> <p>II. 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置 1. 内部統制・ガバナンスの強化 (1) (略) (2) プロジェクト管理 機構が実施するプロジェクトについては、経営層の関与したマネジメントの体制を維持する。プロジェクトの実施に当たっては、担当部門とは独立した評価組織による客観的な評価により、リスクを明らかにし、プロジェクトの本格化の前にフロントローディングによりリスク低減を図るとともに、計画の実施状況を適切に把握し、計画の大幅な見直しや中止をも含めた厳格な評価を行った上で、その結</p>	<p>3. 宇宙産業及び科学技術の基盤の維持・強化 (1) (略) (2) 宇宙科学・探査 ① (略) ② 宇宙科学・探査プロジェクト (略) ● 次期 X 線天文衛星 (ASTRO-H) の運用 <u>終了、運用異常の原因究明・再発防止策等の実施及び今後の X 線天文計画の検討</u>、及びブラックホール、銀河団などの X 線観測 (略) (3) ~ (5) (略) 4. ~ 6. (略)</p> <p>II. 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置 1. 内部統制・ガバナンスの強化 (1) (略) (2) プロジェクト管理 機構が実施するプロジェクトについては、経営層の関与したマネジメントの体制を維持する。プロジェクトの実施に当たっては、担当部門とは独立した評価組織による客観的な評価により、リスクを明らかにし、プロジェクトの本格化の前にフロントローディングによりリスク低減を図るとともに、計画の実施状況を適切に把握し、計画の大幅な見直しや中止をも含めた厳格な評価を行った上で、その結</p>	<p>X 線天文衛星 ASTRO-H「ひとみ」の運用断念に伴い、ASTRO-H の運用に関する記述を原因究明及び再発防止策等の対応を追記する。</p>

変更前	変更後	変更理由
<p>果を的確にフィードバックする。また、計画の大幅な見直しや中止が生じた場合には、経営層における責任を明確化するとともに、原因の究明と再発防止を図る。</p> <p>(3)(略)</p> <p>2. ~4. (略)</p> <p>Ⅲ~Ⅶ (略)</p> <p>Ⅷ. その他主務省令で定める業務運営に関する事項</p> <p>1. ~2. (略)</p> <p>3. 安全・信頼性に関する事項</p> <p>ミッションに影響する軌道上故障や運用エラーを低減し、ミッションの完全な喪失を回避するため、構築済みの品質保証管理体制を維持しつつ、経営層及び部門・部・課室レベルの各段階で、下記の安全・信頼性向上及び品質保証活動を展開する。なお、万一ミッションの完全な喪失が生じた場合には、経営層における責任を明確化するとともに、原因の究明と再発防止を図る。</p> <p>(略)</p>	<p>果を的確にフィードバックする。また、計画の大幅な見直しや中止が生じた場合には、経営層における責任を明確化するとともに、原因の究明と再発防止を図る。</p> <p><u>ASTRO-Hの運用異常を受け、原因究明から得られた再発防止策等について、機構のプロジェクト管理に反映する。</u></p> <p>(3)(略)</p> <p>2. ~4. (略)</p> <p>Ⅲ~Ⅶ (略)</p> <p>Ⅷ. その他主務省令で定める業務運営に関する事項</p> <p>1. ~2. (略)</p> <p>3. 安全・信頼性に関する事項</p> <p>ミッションに影響する軌道上故障や運用エラーを低減し、ミッションの完全な喪失を回避するため、構築済みの品質保証管理体制を維持しつつ、経営層及び部門・部・課室レベルの各段階で、下記の安全・信頼性向上及び品質保証活動を展開する。なお、万一ミッションの完全な喪失が生じた場合には、経営層における責任を明確化するとともに、原因の究明と再発防止を図る。</p> <p><u>ASTRO-Hの運用異常を受け、原因究明から得られた再発防止策等について、安全・信頼性に関する業務に反映する。</u></p> <p>(略)</p>	

変更前	変更後	変更理由
<p>Ⅲ. 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画</p> <p>1. 予算 平成 28 年度予算</p> <div data-bbox="109 288 922 1102" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>変更内容について、本新旧対照表では枠内に収まらないため、別紙1に示す。</p> </div> <p>[注 1][注 2]略</p>	<p>Ⅲ. 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画</p> <p>1. 予算 平成 28 年度予算</p> <div data-bbox="1016 288 1751 1102" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>変更内容について、本新旧対照表では枠内に収まらないため、別紙2に示す。</p> </div> <p>[注 1][注 2]略</p> <p>[注 3] <u>運営費交付金収入及び事業費には、平成 28 年度補正予算(第 2 号)により措置された未来への投資を実現する経済対策の一環として、21 世紀型のインフラ整備の推進のための H3 ロケットの開発等に係る事業費が含まれている。</u></p>	<p>平成 28 年 10 月 11 日に成立した平成 28 年度補正予算(第 2 号)に対応し、予算を見直す。</p>

変更前		変更後		変更理由
2. 収支計画 平成 28 年度収支計画 (単位:百万円)		2. 収支計画 平成 28 年度収支計画 (単位:百万円)		平成 28 年 10 月 11 日に成立した 平成 28 年度補 正予算(第 2 号) に対応し、収支 計画を見直す。
区別	金額	区別	金額	
費用の部		費用の部		
経常費用	221,076	経常費用	<u>225,328</u>	
事業費	122,977	事業費	<u>123,884</u>	
		<u>うち、補正予算(第 2 号)</u>	<u>170</u>	
		<u>による追加</u>		
一般管理費	5,556	一般管理費	5,556	
受託費	22,086	受託費	<u>25,432</u>	
減価償却費	70,456	減価償却費	70,456	
財務費用	72	財務費用	72	
臨時損失	0	臨時損失	0	
収益の部		収益の部		
運営費交付金収益	80,310	運営費交付金収益	<u>80,480</u>	
		<u>うち、補正予算(第 2 号)によ</u>	<u>170</u>	
		<u>る追加</u>		
補助金収益	37,455	補助金収益	<u>38,191</u>	
受託収入	22,086	受託収入	<u>25,432</u>	
その他の収入	1,000	その他の収入	1,000	
資産見返負債戻入	75,767	資産見返負債戻入	75,767	
臨時利益	0	臨時利益	0	
税引前当期純損失	△4,529	税引前当期純利益	△4,529	
法人税、住民税及び事業税	25	法人税、住民税及び事業税	25	
当期純損失	△4,554	当期純損失	△4,554	
目的積立金取崩額	—	目的積立金取崩額	—	
総損失	△4,554	総損失	△4,554	
[注1][注2] (略)		[注1][注2] (略)		

変更前	変更後	変更理由																																																																						
<p>3. 資金計画</p> <p>平成 28 年度資金計画</p> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1" data-bbox="129 344 920 1294"> <thead> <tr> <th>区別</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 業務活動による支出</td> <td>182, 278</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による支出</td> <td>29, 983</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による支出</td> <td>1, 657</td> </tr> <tr> <td> 翌年度への繰越金</td> <td>40, 355</td> </tr> <tr> <td>資金収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 業務活動による収入</td> <td>191, 605</td> </tr> <tr> <td> 運営費交付金による収入</td> <td>105, 343</td> </tr> <tr> <td> 補助金収入</td> <td>47, 401</td> </tr> <tr> <td> 受託収入</td> <td>37, 652</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>1, 210</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 施設整備費による収入</td> <td>1, 368</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 前年度よりの繰越金</td> <td>61, 300</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注1][注2] (略)</p>	区別	金額	資金支出		業務活動による支出	182, 278	投資活動による支出	29, 983	財務活動による支出	1, 657	翌年度への繰越金	40, 355	資金収入		業務活動による収入	191, 605	運営費交付金による収入	105, 343	補助金収入	47, 401	受託収入	37, 652	その他の収入	1, 210	投資活動による収入		施設整備費による収入	1, 368	財務活動による収入	0	前年度よりの繰越金	61, 300	<p>3. 資金計画</p> <p>平成 28 年度資金計画</p> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1" data-bbox="1014 344 1792 1294"> <thead> <tr> <th>区別</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 業務活動による支出</td> <td><u>204, 625</u></td> </tr> <tr> <td> <u>うち、補正予算(第2号)による追加</u></td> <td><u>7, 484</u></td> </tr> <tr> <td> 投資活動による支出</td> <td><u>44, 281</u></td> </tr> <tr> <td> <u>うち、補正予算(第2号)による追加</u></td> <td><u>5, 678</u></td> </tr> <tr> <td> 財務活動による支出</td> <td>1, 657</td> </tr> <tr> <td> 翌年度への繰越金</td> <td>40, 355</td> </tr> <tr> <td>資金収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 業務活動による収入</td> <td><u>224, 758</u></td> </tr> <tr> <td> <u>うち、補正予算(第2号)による追加</u></td> <td><u>13, 162</u></td> </tr> <tr> <td> 運営費交付金による収入</td> <td><u>118, 505</u></td> </tr> <tr> <td> 補助金収入</td> <td><u>58, 701</u></td> </tr> <tr> <td> 受託収入</td> <td><u>46, 343</u></td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>1, 210</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 施設整備費による収入</td> <td><u>4, 861</u></td> </tr> <tr> <td> 財務活動による収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 前年度よりの繰越金</td> <td>61, 300</td> </tr> </tbody> </table> <p>[注1][注2] (略)</p>	区別	金額	資金支出		業務活動による支出	<u>204, 625</u>	<u>うち、補正予算(第2号)による追加</u>	<u>7, 484</u>	投資活動による支出	<u>44, 281</u>	<u>うち、補正予算(第2号)による追加</u>	<u>5, 678</u>	財務活動による支出	1, 657	翌年度への繰越金	40, 355	資金収入		業務活動による収入	<u>224, 758</u>	<u>うち、補正予算(第2号)による追加</u>	<u>13, 162</u>	運営費交付金による収入	<u>118, 505</u>	補助金収入	<u>58, 701</u>	受託収入	<u>46, 343</u>	その他の収入	1, 210	投資活動による収入		施設整備費による収入	<u>4, 861</u>	財務活動による収入	0	前年度よりの繰越金	61, 300	<p>平成 28 年 10 月 11 日に成立した平成 28 年度補正予算(第 2 号)に対応し、資金計画を見直す。</p>
区別	金額																																																																							
資金支出																																																																								
業務活動による支出	182, 278																																																																							
投資活動による支出	29, 983																																																																							
財務活動による支出	1, 657																																																																							
翌年度への繰越金	40, 355																																																																							
資金収入																																																																								
業務活動による収入	191, 605																																																																							
運営費交付金による収入	105, 343																																																																							
補助金収入	47, 401																																																																							
受託収入	37, 652																																																																							
その他の収入	1, 210																																																																							
投資活動による収入																																																																								
施設整備費による収入	1, 368																																																																							
財務活動による収入	0																																																																							
前年度よりの繰越金	61, 300																																																																							
区別	金額																																																																							
資金支出																																																																								
業務活動による支出	<u>204, 625</u>																																																																							
<u>うち、補正予算(第2号)による追加</u>	<u>7, 484</u>																																																																							
投資活動による支出	<u>44, 281</u>																																																																							
<u>うち、補正予算(第2号)による追加</u>	<u>5, 678</u>																																																																							
財務活動による支出	1, 657																																																																							
翌年度への繰越金	40, 355																																																																							
資金収入																																																																								
業務活動による収入	<u>224, 758</u>																																																																							
<u>うち、補正予算(第2号)による追加</u>	<u>13, 162</u>																																																																							
運営費交付金による収入	<u>118, 505</u>																																																																							
補助金収入	<u>58, 701</u>																																																																							
受託収入	<u>46, 343</u>																																																																							
その他の収入	1, 210																																																																							
投資活動による収入																																																																								
施設整備費による収入	<u>4, 861</u>																																																																							
財務活動による収入	0																																																																							
前年度よりの繰越金	61, 300																																																																							

1. 予算 平成28年度予算

(単位:百万円)

区別	金額	A. 衛星測位、衛星リモートセンシング、衛星通信・衛星放送	B. 宇宙輸送システム	C. 宇宙科学・探査	D. 有人宇宙活動	E. 宇宙太陽光発電	F. 航空科学技術	G. 横断的事項	H. その他業務	I. 法人共通
収入										
運営費交付金	105,343	7,480	28,262	19,251	4,196	370	8,044	31,377		6,363
施設整備費補助金	1,368			201			850	318		
国際宇宙ステーション開発費補助金	34,689				34,689					
地球観測システム研究開発費補助金	12,352	12,352								
基幹ロケット高度化推進費補助金	359		359							
受託収入	37,809	265	570	421	200		206	224	35,924	
その他の収入	1,000	251	110	219	60		17	312		31
計	192,921	20,348	29,301	20,091	39,146	370	9,116	32,232	35,924	6,394
支出										
一般管理費	6,394									6,394
(公租公課を除く一般管理費)	5,530									5,530
うち、人件費(管理系)	3,543									3,543
物件費	1,987									1,987
公租公課	864									864
事業費	99,949	7,730	28,372	19,470	4,257	370	8,061	31,689		
うち、人件費(事業系)	13,056	1,510	1,428	2,550	1,530	58	2,012	3,968		
物件費	86,893	6,221	26,944	16,919	2,727	313	6,048	27,721		
施設整備費補助金	1,368			201			850	318		
国際宇宙ステーション開発費補助金	34,689				34,689					
地球観測システム研究開発費補助金	12,352	12,352								
基幹ロケット高度化推進費補助金	359		359							
受託経費	37,809	265	570	421	200		206	224	35,924	
計	192,921	20,348	29,301	20,091	39,146	370	9,116	32,232	35,924	6,394

[注1] 上記には、情報収集衛星関連の受託(内閣官房)に係る見込み額が含まれる。上記以外に、温室効果ガス観測技術衛星(GOSAT-2)関連の受託(環境省)、衛星搭載型二波長赤外線センサの受託(防衛装備庁)及び測位衛星関連の受託(内閣府)等を予定している。

[注2] 各欄積算と合計欄の数字は四捨五入の関係で一致しないことがある。

1. 予算 平成28年度予算

(単位:百万円)

区別	金額	A. 衛星測位、衛星リモートセンシング、衛星通信・衛星放送	B. 宇宙輸送システム	C. 宇宙科学・探査	D. 有人宇宙活動	E. 宇宙太陽光発電	F. 航空科学技術	G. 横断的事項	H. その他業務	I. 法人共通
収入										
運営費交付金	<u>118.505</u>	<u>13.328</u>	<u>35.576</u>	19,251	4,196	370	8,044	31,377		6,363
うち、補正予算(第2号)による追加	<u>13.162</u>	<u>5.848</u>	<u>7.314</u>							
施設整備費補助金	<u>4.861</u>		<u>2.229</u>	201			<u>1.181</u>	<u>1.250</u>		
国際宇宙ステーション開発費補助金	<u>40.089</u>				<u>40.089</u>					
地球観測システム研究開発費補助金	12,352	12,352								
基幹ロケット高度化推進費補助金	<u>6.259</u>		<u>6.259</u>							
設備整備費補助金										
受託収入	<u>46.500</u>	265	570	421	200		206	224	<u>44.615</u>	
その他の収入	1,000	251	110	219	60		17	312		31
計	<u>229.566</u>	<u>26.196</u>	<u>44.743</u>	20,091	<u>44.546</u>	370	<u>9.447</u>	<u>33.164</u>	<u>44.615</u>	6,394
支出										
一般管理費	6,394									6,394
(公租公課を除く一般管理費)	5,530									5,530
うち、人件費(管理系)	3,543									3,543
物件費	1,987									1,987
公租公課	864									864
事業費	<u>113.111</u>	<u>13.578</u>	<u>35.686</u>	19,470	4,257	370	8,061	31,689		
うち、人件費(事業系)	13,056	1,510	1,428	2,550	1,530	58	2,012	3,968		
物件費	<u>100.055</u>	<u>12.069</u>	<u>34.258</u>	16,919	2,727	313	6,048	27,721		
うち、補正予算(第2号)による追加	<u>13.162</u>	<u>5.848</u>	<u>7.314</u>							
施設整備費補助金経費	<u>4.861</u>		<u>2.229</u>	201			<u>1.181</u>	<u>1.250</u>		
国際宇宙ステーション開発費補助金経費	<u>40.089</u>				<u>40.089</u>					
地球観測システム研究開発費補助金経費	12,352	12,352								
基幹ロケット高度化推進費補助金経費	<u>6.259</u>		<u>6.259</u>							
設備整備費補助金経費										
受託経費	<u>46.500</u>	265	570	421	200		206	224	<u>44.615</u>	
計	<u>229.566</u>	<u>26.196</u>	<u>44.743</u>	20,091	<u>44.546</u>	370	<u>9.447</u>	<u>33.164</u>	<u>44.615</u>	6,394

[注1][注2] (略)

[注3] 運営費交付金収入及び事業費には、平成28年度補正予算(第2号)により措置された未来への投資を実現する経済対策の一環として、21世紀型のインフラ整備の推進を図るためのH3ロケット等の開発に係る事業費が含まれている。